

U12 クレークマウンテン (カリフォルニア)

クレークマウンテンはカリフォルニアとネバダの州境にある石灰岩の岩山で、岩場はI-15号からも良く見える。最近までランディー、リービットや鈴木英孝氏などによるシークレットエリアであった。

今回ラスベガスで鈴木さんに会って薦められたのと、クライミング誌に紹介されたのもあって、1998年6月初めに行ってみた。岩場は大きく分けてファーストステージ、セカンドステージ、サードステージの3つに分けられる。メインとなるのはセカンドステージとサードステージで、特にサードステージには高難度の大前傾壁がそびえている。見た目も綺麗で、良くこんな所につくたなと感心してしまうエリアである。ただ、問題はアプローチで、サードステージまでは早くても1時間はかかる。また、車高の高い車でないと最後の0.5マイル手前までしか入れないので、その分よけに歩かなければならない。開拓時は鈴木さんなどは、週末朝4時にサンディエゴのランディーの家を出て、その日はセカンドステージに食料を持ち上げてピバークしていたという。実際セカンドステージとサードステージにはスリーピングスペースがあり膨大な量の荷物が残置されていた。グレートも幾つかは易しいものもあるが基本的には5.12後半レベル以上のクライマーの方が楽しめる。

岩質
石灰岩

ルート

ファーストステージは5.10から5.12まで10本ほどある。一番早く日が陰るのでウォームアップに丁度良い。岩場は垂直から薄被りで小さいエリア。最終パーキングから約30分。

セカンドステージはちょうど円形のようになっていて左壁がウォームアップ壁。真ん中は2段になっていて一段目は二子の広場の様な感じ。右壁の上部はかなりの高難度が揃っている。ファーストステージより15分。

サードステージはとても素晴らしいロケーションである。高さは約60メートル以上で、3ピッチのルートもある。岩場は大きな円形形で左壁の方に5.10から5.12のショートルートがある。この多くは卵型で出だしがハングで上部がスラブである。丁度その上がスリーピングポイントにもなっている。セルフを取った方が良い。真ん中にはメインの5.13がある。1ピッチ目の5.12はアプローチルートの為、超お買い得。その他、素晴らしい高難度ルートが揃っているが、5.13の後半は登れるクライマーでないと楽しめないかも知れない。セカンドステージよりクグリ仕様でフィックスを使えば15分。歩いて歩けば30分はかかる。雨が降ってもまった問題は無い。

宿泊

キャンプなら車の入れる所まで入ってその側にはるか、最終パーキングにかなりのスペースがある。

岩場でピバークと手もある。モーターならネバダの州境に安ホテルがある。ラスベガスからでも通えるが、意外とI-15号からダートの悪路で時間がかかるのと、歩きの時間があるので、できるだけ岩場に近いほうが効率的。

シーズン

春と秋。意外と標高があるので冬は寒いとのこと。

ショッピング

ラスベガスで全ての物が手に入る。

アプローチ

I-15号をカリフォルニア州へ5マイル入った YATES WELL ROAD 出口において、ゴルフ場を横に見ながら走るとダートは約9.3マイル走る。途中からかなりの悪路でレンタカーなどは最後まで入れない。途中のダートも分岐が多くあるのでトボを見ながら行くこと。ダートだけでも30分はかかる。